

## 論文概略

論文タイトル	Investigation of robotic assisted tilt table therapy for early stage spinal cord injury rehabilitation
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 50 Number 3 Page 367
出版年	2013年
支援機器	Robotic assisted tilt-table therapy(RATTT)
分類(ISO9999)	4
試験相	2
研究仮説(目的) の概要	起立耐性を増加させ好気性フィットネスの低下を減衰させることで、容易な心肺運動を可能にし、SCIの早期リハビリテーションで使用することができる
研究デザイン	群内比較(自己対照)
障害・疾患	脊損
対象者・数	障害者6人(完全3人 不完全3人)
主要アウトカム	酸素摂取量、呼吸交換比、分時換気量、心拍数、動脈血圧
副次アウトカム1	
副次アウトカム2	
副次アウトカム3	
副次アウトカム4	
副次アウトカム5	
統計学的検定	有
結果の概要	意思の努力と訓練期間は不完全SCIの心肺、換気フィットネスを向上させ、完全SCIではFES支援RATTTにより適応度の損失を減衰させる

論文整理番号 205 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」  
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究  
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター